

岡山県 美咲町議会

（事績3）地方議会・地域活性化のために特別な取組みをした議会

「議員のなり手不足解消に向けた議会魅力化の取組」

PRを最大限に活用したメディアミックス構想

美咲町議会だより、議会ホームページなどの情報媒体をフル活用して議会活動を発信。報道各社へのPR活動、特に新聞紙面への掲載やケーブルテレビへのニュース提供は予算ゼロで町内外に広く認知されるスキームとして確立。ユニークなのは議会だより発行のお知らせや議会ニュースなどを議会ホームページにYouTubeでアップ。議会活動が分かりやすく、より身近に伝わるとの評判で、議会の魅力化ひいては町内外から「美咲町議会が熱い！」との評価につながっている。

誰もが手を挙げることのできる議会へ

全議員が立候補しやすい環境づくりに取り組まなければならないと認識。活動量と活動内容から議員報酬を算定する原価方式についての研修、議員ハラスメント防止を推進し、条例制定も視野に研修を実施。さらにはお招きした講師の見識を議会・議員の活動の活性化と充実及び議会運営に反映すべく、美咲町議会アドバイザーとして委嘱する。

「地域民主主義形成サイクル確立に向けた取組」

担い手の育成×小学生・中学生

小学6年生による本会議形式での議会体験学習を本年も6月26日開催。

児童たちにとって初めて議会を経験する場であり、議場内での学びと体験が郷土愛の醸成と行為主体性を備えた教育につながるよう議員一人ひとりが民主主義の担い手を育てる場として接している。

コロナ過で開催できていなかった中学3年生による「子ども議会」を昨年から復活。議場練習では議会事務局が指導に当たり、回数を重ねるごとに中学生議員に自信が芽生え、本番で質問する姿は議員顔負けであった。民主主義を実体験できる取組である。

担い手の育成×高校連携、大学連携

昨年の大学連携に続き、本年1月21日、岡山県美作高等学校の英語ユネスコ部と「高校生と大人と一緒に取り組めるSDGs活動」と題して初の交流事業を実施。OSTの技法を用いてワークショップを開催した。本事業をきっかけにSDGsパートナーシップ包括協定締結へと発展。3月24日には連携事業として、LGBTQとジェンダー平等に関して合同

研修及び意見交換を行い、「議員が身近な存在に感じる事ができた」「一緒にフィールドワークを行いたい」と学生から意見があがった。

担い手の育成×議会応援団

本町議会では若者の議会離れを防ぐには、若者が議会に関わることが重要と考え、議会の応援団として昨年アンバサダー制度を導入。今年も議会アンバサダー募集ポスターを作成し、積極的なPR活動を展開している。また、アンバサダーの活躍が町民にも幅広く伝わるよう議会だよりと連動させ、小学生から大学生までの各教育課程の取組が一冊で確認できる紙面作りを行った。

担い手の育成×町民とまちを語る

本町議会では、昼夜問わず、少人数、小規模な単位のグループでも気軽に申し込むことが出来る意見交換会「出前議会」を実施している。本年5月28日には、議会アンバサダーの高校生、大学生を交えて総勢100人で「一緒に私たちの地域について考える」と題して出前議会を実施。議員がファシリテーター、学生が参加者の意見をまとめ、発表を行った。学生が入ることでどうすれば地域がよりよくなるかといった議論が活発になり、自治会長からは「若い人にどういうバトンを継承していくか地域として考えていかなければいけない」とのメッセージをいただいた。

これらの活動が、美咲町議会と小学生から高齢者までの全世代とつながりを生み、地域民主主義サイクルとして美咲モデルを構築するものと自負を持って取り組んでいる。